

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標2_健康・福祉】

施策 2-1_健康づくりと医療体制の充実

基本計画		事業番号	細事業名称
2-01-01	地域と一体となった健康づくりの推進	04010_01	健康都市づくり推進事業
2-01-01	地域と一体となった健康づくりの推進	04010_02	健康ポイント助成事業
2-01-01	地域と一体となった健康づくりの推進	04247_01	骨髄バンクドナー支援補助金
2-01-01	地域と一体となった健康づくりの推進	04251_01	健康プログラム事業
2-01-01	地域と一体となった健康づくりの推進	04263_01	健康政策企画調整費
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04017_03	予防接種事業
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04017_04	予防接種費用助成費補助金
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04203_03	健康相談
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04203_04	がん検診等
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04203_06	人間ドック
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04225_01	精神保健推進事業
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04234_01	食育推進事業
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04271_01	移動デジタル福祉サービス推進事業
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04278_01	福祉増進計画策定事業費
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	03576_01	福祉施設PCR検査等支援事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04013_01	救急医療体制運営事業委託
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04013_02	休日夜間急患センター管理事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04013_04	休日夜間急患センター運営補助
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04070_01	大島診療所維持管理事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04070_02	大島診療所運営補助
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04173_01	別子山診療所維持管理事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04173_02	別子山診療所運営補助
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04242_01	新居浜市医師確保奨学金貸付事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04255_01	新居浜市歯科衛生士確保奨学金貸付事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04257_01	地域医療対策強化事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04268_01	産科医等確保支援事業補助金
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04269_01	救急医療施設広域運営事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04010_01			
事業名(行目名称)		健康都市づくり推進費	細事業名	健康都市づくり推進事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	地域と一体となった健康づくりの推進	担当課	健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	117,439人			
	手段(どうやって)	「健康都市づくり推進員」として2年任期で73名を委嘱し、毎月研修会を開催し、地域の健康づくりリーダーとして育成する。健康寿命の延伸を目指して、関係機関が緊密に連携し、第2次元気プラン新居浜21後期計画及び第2次新居浜市食育推進計画を推進する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民の健康寿命の延伸を目指して、健康都市づくり推進員を行政と地域を結ぶ「健康づくりリーダー」として育成し、住民主体の健康づくりを推進し、住民全体の健康意識の向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		182	110	110	41	○需用費 69千円 ○役務費 41千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		182	110	110	41			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
推進員地域活動件数(令和4年度～)			目標値	500	4000	0	0	0
			実績	108	4051	0	0	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	低い	有効性	低い	効率性	低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する					
<p>疾病構造の変化等に伴う法律や制度の改正に基づき、地域包括支援センターにおける介護予防事業や、スポーツ振興課による運動の推進等、各課所において健康づくり事業が行われている。健康づくり推進本部において、類似事業の整理を行い、より効果的な健康施策の検討を行うため、6月任期満了で研修会は終了する。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
令和6年度より廃止する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)	D:事業の統合・休廃止を検討					
<p>健康都市づくり推進事業については、健康づくり推進本部の設置に伴い、健康課題解決に向けてさらに発展的効果的な施策を推進するため廃止する。</p>								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	04010_02		
事業名(行目名称)		健康都市づくり推進費		細事業名 健康ポイント助成事業				
総合 計画	まちづくり	健康・福祉		施策 健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	地域と一体となった健康づくりの推進		担当課 健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市民			数値	114,886人		
	手 段 (どうやって)	健康アプリを活用し、ウォーキングの歩数に対するインセンティブとして、あかがねポイントを付与することにより、運動の継続性、健康意識の向上に繋げる。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	市民の健康寿命の延伸を目指すとともに、市民の健康意識の向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		481	3,096	3,096	2,498	○報酬 43千円 ○需用費 28千円 ○負担金補助及び交付金 3,025千円		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	481	3,096	3,096	2,498			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
健康アプリ登録者数			目標値	2500	2500	1500	2999	5000
			実績	1893	2761	2036	3054	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
令和5年9月末時点の健康アプリ登録者数は、目標値に到達しているものの、今後の増加に向けての周知啓発が課題となる。								
成果指標名を令和5年度から変更 交換申請者数(～R2) ポイント付与件数(R3～) → 健康アプリ登録者数								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
ウォーキングの歩数に対するインセンティブとして、あかがねポイントを付与することにより、歩数の増加や健康意識の向上などの効果が得られている。令和6年度はより多くの市民の健康づくり活動を促進するために、登録者数を5,000人に拡大したい。令和6年度においては、令和5年度予算と同額程度で対応可能であるが、令和7年度以降については、さらに登録者数が増加することに伴い、あかがねポイント付与数が増加する見込みである。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)		B: 事業の進め方の改善検討				
令和5年度は主に歩数に応じた日々のポイント及びイベントでのボーナスポイントをインセンティブとしてきた。令和6年度以降はポイント付与が、登録者増、健康意識向上のどちらにもインセンティブとして効果的になるよう、5年度の結果を踏まえて付与の方法等検討していく必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04247_01		
事業名(行目名称)		骨髄バンクドナー支援費	細事業名	骨髄バンクドナー支援補助金			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	地域と一体となった健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	114,886人			
	手段(どうやって)	市内に住所を有し、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業においてドナー登録している者のうち、骨髄等の提供をした者に、1回につき 100,000円 骨髄等を提供した者が従事している事業所に、1人につき 50,000円					
	目的(どんな状態にしたいのか)	骨髄または末梢血幹細胞を提供する者に対して、助成金を交付することにより、ドナーの経済的負担を軽減し、骨髄の移植の推進及びドナー登録の増加を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 300千円	
経費		100	300	300	0		
財源	県・国支出金	50	150	150	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	50	150	150	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
骨髄等を提供した者		目標値	3	3	1	3	2
		実績	2	1	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
骨髄または末梢血幹細胞を提供するものに対して助成金を交付する事業であるため、提供者が出現して初めて事業実施が行える。行政としては今後とも骨髄バンクの重要性を広く市民に啓発し、骨髄移植等の継続的な実現を図るために今後も事業を推進していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
骨髄等移植事業は、国県が推進している事業であり、血液疾患患者のために重要な事業である。年間を通しての提供件数が想定できないため、現状維持の方向で予算措置を行っておく必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
本年度はドナーによる提供はなかったが、血液疾患患者のためには重要な事業であり、今後も市民への啓発を行い事業を継続する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	04251_01		
事業名(行目名称)		健康プログラム事業費		細事業名	健康プログラム事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉		施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	地域と一体となった健康づくりの推進		担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	114,886人		
	手段(どうやって)	健康アプリを活用し、ウォーキングの歩数に対するインセンティブとして、あかがねポイントを付与することにより、運動の継続性、健康意識の向上に繋げる。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民の健康寿命の延伸を目指すとともに、市民の健康意識の向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		8,872	4,599	19,999	19,596	○報酬 43千円 ○需用費 28千円 ○負担金補助及び交付金 3,025千円		
財源	県・国支出金	7,154	0	15,400	15,400			
	地方債		0	0				
	その他	350	0	0	0			
	一般財源	1,368	4,599	4,599	4,196			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
健康アプリ登録者数			目標値	0.65	0.65	1500	2999	5000
			実績	0.613	0.64	2036	3054	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>令和5年9月末時点の健康アプリ登録者数は、目標値に到達しているものの、今後の増加に向けての周知啓発が課題となる。</p> <p>成果指標名を令和5年度から変更 参加者の週1回以上の運動実施率 → 健康アプリ登録者数</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>ウォーキングの歩数に対するインセンティブとして、あかがねポイントを付与することにより、歩数の増加や健康意識の向上などの効果が得られている。令和6年度はより多くの市民の健康づくり活動を促進するために、登録者数を5,000人に拡大したい。令和6年度においては、令和5年度予算と同額程度で対応可能であるが、令和7年度以降については、さらに登録者数が増加することに伴い、あかがねポイント付与数が増加する見込みである。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		B:事業の進め方の改善検討					
<p>アプリ登録者数はイベント、SNSでの周知等により目標を上回ることが出来た。令和6年度以降は、限られた財源で更なる利用者の拡大及び市民の健康意識向上に向け、事業の進め方等改善していく必要がある。</p>								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04263_01		
事業名(行目名称)		健康政策企画調整費	細事業名	健康政策企画調整費			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	地域と一体となった健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	114,886人			
	手段(どうやって)	KDB(国保データベース)システムを活用し、市の健康課題の調査分析し、市内の各種健康関連事業の連携・調整及び必要な新規事業の企画を行う。 また、75歳以上高齢者の保健事業については、市において地域支援事業等と一体的に実施するための必要な調整を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民協働による健康都市づくりを推進し、健康寿命の延伸を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		322	685	685	299	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 77千円 ○需用費 340千円 ○役員費 21千円 ○使用料及び賃借料 172千円 ○負担金補助及び交付金 75千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	322	685	685	299		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
健康寿命:男性 (KDBシステムより算出)		目標値		79.2	79.3	79.3	79.4
		実績		79.2	79.3	79.3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>令和5年度から健康づくり推進本部を設置し、市内の関係機関と各種健康関連事業の調整を行っている。 令和5年度は高血圧予防対策を重点的に進めている段階であり、継続して実施していく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>健康寿命延伸のために、市内の関係機関と連携し、中長期的な取り組みを継続していく必要がある。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>令和5年度に健康づくり推進本部を設置し、市内の関係課所が組織横断的に健康づくりの推進に取り組むための調整を行った。市の健康課題の分析を継続するとともに、健康寿命延伸のため、今後も関係機関の調整を行い、事業を進めていく。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04017_03		
事業名(行目名称)		感染症等予防費	細事業名	予防接種事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	乳幼児、児童、生徒、高齢者		数値	43,810人		
	手段(どうやって)	予防接種法に基づきA類疾病、B類疾病ともに県内、市内の医療機関に委託し個別接種を実施する。A類疾病の定期接種は、予防接種手帳を生後2か月前に個人通知するとともに、未接種者には個別通知等接種勧奨を行う。B類疾病の高齢者肺炎球菌予防接種は、誤接種にならないよう対象者に接種券を個別通知し、65歳、70歳の未接種者に再通知を行う。また予防接種率の向上と感染症予防のため学校等を通じての啓発や市政だより、ホームページ、出前講座等で正しい知識と情報の提供に努める。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	予防接種を実施することにより、感染症の蔓延を防ぐ。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		330,460	376,755	376,755	321,536	○報酬 3,809千円 ○職員手当等 674千円 ○共済費 780千円 ○報償費 45千円 ○旅費 101千円 ○需用費 131,922千円 ○役務費 3,493千円 ○委託料 235,089千円 ○負担金補助及び交付金 842千円	
財源	県・国支出金	4,478	3,606	3,606	2,318		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	325,982	373,149	373,149	319,218		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
予防接種率(二種混合)		目標値	85	85	85	85	85
		実績	74.7	63.9	42.2	67.8	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
予防接種法に基づき、伝染や感染の恐れがあるA類及びB類疾病の蔓延を防止するため、予防接種を実施している。乳幼児・児童を対象としたA類予防接種については、未接種者の個別通知等接種勧奨を行い、接種率の向上に努めている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
予防接種を実施することにより、伝染や感染の恐れがあるA類及びB類疾病の蔓延を防止している。子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種、成人の風しん抗体検査及び風しん予防接種については、令和6年度末で終了するため、周知を徹底を図り接種率の向上に努める。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
A類疾病の定期予防接種は、適正な時期に接種するように勧奨を行った結果、昨年度より接種率は向上した。二種混合ワクチンの接種率は目標値に達していないため、個別通知により接種勧奨を行う。次年度も引き続き、予防接種の周知啓発を行い、接種率の向上に努める。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04017_04		
事業名(行目名称)		感染症等予防費	細事業名	予防接種費用助成費補助金			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	県外で予防接種を受ける乳幼児で、予防接種費用助成の申請者		数値	53人		
	手段(どうやって)	愛媛県外でA類定期予防接種を受ける市民を対象に、当該費用の一部を助成する。また特別な理由により、一度受けた定期接種で獲得した免役を失い、その予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再接種する場合に費用を助成する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	子育て世代の経済的負担の軽減を図り、子どもの健康保持、感染症の発生および蔓延を予防する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 1,456千円	
経費		538	1,456	1,456	1,914		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	538	1,456	1,456	1,914		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
県外予防接種補助金交付者数(実人数)		目標値	20	20	20	20	20
		実績	16	12	12	26	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
母親の里帰り出産や進学のため、県外で定期接種を希望する者は増えているが、年度による増減の幅がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
母親の里帰り出産や進学のため、県外の医療機関で定期予防接種を受けた方や、治療等により予防接種で獲得した免役を失った方が任意で再接種するための費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減と伝染病の蔓延予防につながるため、継続実施が必要な事業である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
里帰り出産等のため、県内の委託医療機関以外の医療機関で自己負担により定期予防接種を受けた方の接種費用の一部を助成をすることにより、経済的負担を軽減し、定期予防接種の接種率向上に有効であったため、引き続き事業を実施する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	04203_03	
事業名(行目名称)		健康増進対策費	細事業名	健康相談			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	40歳以上の市民		数値	74,857人		
	手段(どうやって)	保健師・管理栄養士・歯科衛生士等の専門職による生活習慣病予防のための健康教育・健康相談を実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	生活習慣病予防等について、正しい知識の普及を図り自らの健康は自らが守るという認識と自覚を高め、壮年期からの健康の保持・増進に資する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,927	3,493	3,493	3,035	○報酬 1,693千円 ○職員手当等 676千円 ○共済費 338千円 ○報償費 58千円 ○旅費 116千円 ○需用費 548千円 ○役員費 8千円 ○使用料及び賃借料 56千円	
財源	県・国支出金	732	1,074	1,074	582		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,195	2,419	2,419	2,453		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
健康教育・健康相談実施人数		目標値	6000	6000	3000	6000	6000
		実績	6625	8068	3785	9340	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>体組成計とタニタのベジチェックを保健センターに常設し、市民がいつでも気軽に健康相談ができるように体制の変更を行った。集団健診や乳児健診の待ち合い時にもベジチェックを行い、市民の健康意識の向上を図っている。また、協会けんぽと連携し、企業への健康相談や栄養セミナーを実施している。企業の健康相談については、実施企業の選定が課題となっている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
<p>新居浜市の健康課題解決に向けて、生活習慣病グループや協会けんぽと連携し、効果的な健康相談を実施する。保健センターでの健康相談は、体組成計やベジチェックを引き続き常設設置し、市民が気軽に利用できる場として啓発を行っていく。医師講演会については、民間医療機関でも同じようなイベントの場があるため、保健センター主催での実施は廃止するが、健康相談に協力するなど、官民一体となった健康づくりへの取り組みを推進する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>健康課題である高血圧予防についての医師講演会、減塩推進及び野菜摂取量測定による「ローソルトベジプロジェクト」等を実施し、普及啓発に努めた。また、事業所に向き、企業チャレンジとして健康相談を実施し、働き世代にアプローチした。その他、市内高校での健康教育、健康相談等ライフステージに応じた事業を展開することができた。来年度は生活習慣病グループの活動の一環として、中学校にも対象を広げ、若年層からの意識付けを行い、正しい生活習慣への市民の行動変容に繋げる。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04203_04		
事業名(行目名称)		健康増進対策費	細事業名	がん検診等			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	40歳以上の市民、子宮頸がん検診は20歳以上の女性		数値	85,386人		
	手段(どうやって)	検診機関に業務委託し集団及び個別検診を実施する。総合健診として、各種がん検診、特定健診等を同時に実施できるように集団健診日程を設定する。また、休日検診の回数増設や託児機能の設置等、市民の利便性を考慮する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	がん等の生活習慣病やその危険因子を早期に発見し、適切な保健指導や早期治療に結びつけることにより生活習慣病等を予防する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		87,125	101,074	101,074	85,389	○報酬 2,881千円 ○職員手当等 875千円 ○共済費 370千円 ○報償費 30千円 ○旅費 51千円 ○需用費 620千円 ○役務費 3,994千円 ○委託料 92,241千円 ○使用料及び賃借料 12千円	
財源	県・国支出金	1,742	2,025	2,025	1,326		
	地方債		0	0			
	その他	0	1	1	1		
	一般財源	85,383	99,048	99,048	84,062		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
集団けんしん受診者数		目標値	8000	8000	4000	8000	8000
		実績	7803	8214	3569	7808	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>昨年度と同じ水準で受診者数は推移している。WEB予約の本格導入が2年目を迎え、若い世代においてWEB予約の利用が増加傾向にある。引き続き、待たせない環境づくりのための受付時間の設定や、休日健診の実施等、市民の方が受診しやすい環境づくりを進めていくと共に、節目年齢でのハガキの送付や集団健診カレンダーの市政だよりの折り込み、公共施設への集団健診カレンダーやポスターの掲示等を引き続き実施し、コール・リコールの徹底を図る。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
<p>健康寿命の延伸、がんによる死亡者の減少を図るため、円滑で安心・安全に受診できる体制を整え、引き続き事業を実施する。自分の健康は自分で守るという健康意識の醸成を図るため、がん検診の無料化を廃止し、一部自己負担金を徴収する。がんの早期発見・早期治療の必要性を周知啓発するために、新たに生命保険会社と連携した周知啓発等を実施し、新規受診者やリピーターの確保に努めていく。また、精密検査対象者に対しては、個別通知や電話勧奨を行い、精密検査受診率の向上を図る。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	B:事業の進め方の改善検討				
<p>受診者の利便性を考え、市内全域の公民館および保健センターで集団健診を実施しているが、公民館での受診者が減少している。今後は自治会回覧等で地域住民に周知していくなど、未受診者対策を行っていく必要がある。また、がん検診の有料化に伴う受診控えを防ぐために、市政だよりの市ホームページ、SNS等でがん検診の意義を周知するとともに、節目年齢や過去の受診歴に応じた受診勧奨はがきを送付するなど、効果的な受診勧奨を行う必要がある。精密検査受診率向上のため、精密検査の重要性の周知や、精密検査未受診者に対する受診勧奨を継続して行っていく。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04203_06		
事業名(行目名称)		健康増進対策費	細事業名	人間ドック			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	40歳以上の新居浜市民(国保・後期高齢者医療被保険者、その他の保険加入者のうち健診を受ける機会がない人)		数値	74,857人		
	手段(どうやって)	新居浜市医師会へ委託して実施。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	循環器疾患及びがん等について、早期発見・早期治療のみならず適切な事後指導を実施し市民の健康づくりに役立てる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		7,343	8,604	8,604	7,718	○委託料 8,604千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	7,343	8,604	8,604	7,718		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
受診者数		目標値	350	300	150	300	300
		実績	292	276	165	299	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>予約者も順調に伸びており、市民の健康管理に役立っている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>今年度同様の人数で医師会に委託して実施する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>健康増進法に基づき、40歳以上かつ健診を受ける機会がない市民を対象に、生活習慣病予防のための総合的な健診を実施しており、受診者はほぼ定数を満たしており、市民の需要は高いため、継続して事業を実施する。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04225_01		
事業名(行目名称)		精神保健推進費	細事業名	精神保健推進事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	18歳以上の市民	数値	98,901人			
	手段(どうやって)	①ロビー展示や健康教育を通して、心の健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を行う。 ②こころの健康相談など専門家による相談の場を設ける。 ③地域での見守り体制を充実させるため、ゲートキーパー養成を行う。 ④精神障害者家族教室を開催し当事者家族のサポートを行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	メンタルヘルスに関する正しい知識の普及啓発や相談支援体制の充実により、市民のこころの健康の保持増進や自殺予防につなげる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,485	1,667	1,667	1,377	○報酬 784千円 ○共済費 137千円 ○報償費 267千円 ○旅費 83千円 ○需用費 332千円 ○役員費 13千円 ○委託料 33千円 ○負担金補助及び交付金 18千円	
財源	県・国支出金	685	751	751	634		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	800	916	916	743		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
こころの健康教育・相談の参加者数		目標値	350	350	600	600	600
		実績	342	559	249	539	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
若者のメンタルヘルス講演会について、小中学校教職員を対象に、自殺対策として「子どものSOSの出し方・受け止め方」をテーマに講演会を実施したが、昨年度末に中学校養護教諭対象に子どものSOSの出し方教育についてのアンケート調査を実施した結果、本講演会以外に同様の研修を受ける機会があることが分かったため、今後は、本講演会は中止とし、中学校の生徒向けにSOSの出し方についての内容を含めた「こころの健康小冊子」を作成し、配布する。配布後には出前講座として中学校へ出向していく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
医師や臨床心理士によるこころの相談事業やメンタルヘルス出前講座等、こころの健康づくりに関するニーズは年々高まっており、事業の継続実施が必要と考える。今年度、地域福祉課に事務分掌を移管したため、令和6年度については、地域福祉課主体で、保健センターと共同で事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	C: 事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
こころの相談やこころの健康づくりに関する普及啓発、メンタルヘルス等を盛り込んだ高校生へのサポートブック配布は、保健センターが主体で取り組んだ。ゲートキーパー養成講座や家族教室は地域福祉課が主体で保健センターと共同で取り組んだ。より若い世代からのメンタルヘルス対策の一環として、中学生向け「こころのサポートブック」を作成したため、次年度は中学校と連携し、サポートブックを活用したメンタルヘルス等の出前講座を実施する。精神保健事業の実施主体を地域福祉課へ移管し、保健センターと共同で事業を実施する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04234_01		
事業名(行目名称)		食育推進事業費	細事業名	食育推進事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	118,521人		
	手段(どうやって)	栄養士、保健師、食生活改善推進員による健康教育・健康相談やバランス食に関する講義及び調理実習					
	目的(どんな状態にしたいのか)	食育に関する正しい知識の普及啓発を行うことにより、市民一人一人が生涯を通じて望ましい食習慣を形成し、健全な食生活を送り、生活習慣病予防や健康寿命の延伸を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,005	2,641	2,641	2,068	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 74千円 ○報償費 1,116千円 ○需用費 1,441千円 ○役務費 4千円 ○負担金補助及び交付金 6千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,005	2,641	2,641	2,068		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
幼児食育事業参加者数		目標値	750	850	400	800	700
		実績	821	725	381	740	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>新居浜市の食育推進を担う、食育ボランティアである食生活改善推進員の会員が高齢化し、次世代の食育の担い手が不足している。また、若い世代のやせや朝食の欠食、壮年期の肥満、高齢期の低栄養など、ライフステージに応じたきめ細やかな対応が必要である。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>新居浜市の健康課題である高血圧の発症及び重症化予防のため、生活習慣病グループで市民全体の減塩や野菜摂取量の増加を推進する。また、次世代の食育推進を担う食育ボランティアを育成するため、若い世代への食育料理教室を実施する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>食に関する正しい知識や調理技術の伝達、次世代の食育ボランティアの育成の為、食生活改善推進協議会と連携し、地区実習や若い世代を対象とした食育料理教室等を実施した。また、高血圧や糖尿病等の生活習慣病予防のため、園や学校、地域等に出向き、ローソルト&ベジプロジェクトの推進を図った。市民の行動変容を促し、生涯を通じた健康づくりや食育を推進するために、次年度も引き続き事業の取組を推進する。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04271_01		
事業名(行目名称)		移動デジタル福祉サービス推進事業費	細事業名	移動デジタル福祉サービス推進事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	利用件数		
	手段(どうやって)	マルチタスク車両を導入し、山間部や離島地域をはじめ、市内のあらゆる公共交通不便地域に市民が必要とする保健・医療サービスを届ける。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	デジタル技術を活用した保健指導等を実施し、健康寿命の延伸を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		18,105	2,914	4,916	4,096	○需用費 314千円 ○役務費 103千円 ○委託料 951千円 ○使用料及び賃借料 46千円 ○備品購入費 1,500千円	
財源	県・国支出金	18,016	750	2,752	2,248		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	89	2,164	2,164	1,848		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
保健相談の利用件数		目標値			50	50	100
		実績		20	60	168	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
車両の巡回先の選定、専門職の確保、車両を活用する事業の固定化など、効率的に実施できるよう改善しながら実施する必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
マルチタスク車両で健康相談やオンライン診療を行う機器の購入はほぼ完了しているため、維持管理及び運行管理業務費用のみ継続的に必要となる。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	B: 事業の進め方の改善検討				
地域の拠点等を訪問し、地域の高齢者等の健康相談や健康づくり関連のイベントでの車両の展示及び周知を行った。また、マイナポータルと連携できる環境を整備し、マイナポータルの健康・医療情報を参照しながらより質の高い健康相談が実施できることとなった。健康相談の参加者からは専門職に話を聞いてもらえてよかったなど、概ね好評であった。今後はオンライン診療体制の整備も併せて検討していく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04278_01		
事業名(行目名称)		福祉増進計画策定事業費	細事業名	福祉増進計画策定事業費			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	11万人			
	手段(どうやって)	第2次元気プラン新居浜21、第2次新居浜市食育推進計画及び新居浜市自殺対策計画の最終評価にあたり、市民の健康に関する実態調査を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民の健康に関する実態調査を基に、市民の健康づくりに関する指針となる次期計画を策定し、健康寿命の延伸を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 3,240千円	
経費			3,240	3,240	2,750		
財源	県・国支出金		1,317	1,317	797		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		1,923	1,923	1,953		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
計画策定進捗率(%)		目標値			25	50	100
		実績			25	50	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
市民への実態調査は9月に実施した。今後は分析業務を行い次期計画の素案を作成する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
実態調査については令和5年度に集計、分析業務及び素案の作成までまでおこなうため、翌年は次期計画策定のための協議会開催やパブリックコメントを実施するが、予算は次期計画の印刷製本費のみ必要とする。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	D:事業の統合・廃止を検討				
第3次元気プラン新居浜21(健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画)の策定にあたり、市民の健康等に関するアンケート調査を実施。アンケート結果と集計・分析し次期計画の素案を作成した。来年度は協議会での審議、パブリックコメントを実施し、計画書は庁内で印刷するため、予算措置は不要。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	03576_01		
事業名(行目名称)		福祉施設PCR検査等支援事業費	細事業名	福祉施設PCR検査等支援事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	介護福祉課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内高齢者施設等	数値	1,030件			
	手段(どうやって)	高齢者福祉施設等が行った自主検査1件につき、PCR検査10,000円、抗原検査6,000円を上限に補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	高齢者施設等が施設等の職員を対象に行った新型コロナウイルス感染症自主検査費用に対する補助を行うことにより、施設等の負担を軽減し、利用者への安全なサービスの提供の確保を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		11,302	7,380	7,380	660	○負担金補助及び交付金 7,380千円	
財源	県・国支出金	10,338	3,690	3,690	649		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	964	3,690	3,690	11		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
施設等への検査費補助		目標値		7380000		7380000	
		実績		11302000		660000	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、依然として高齢者福祉施設内において感染が起きている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、愛媛県の自主検査補助金が廃止されたことを受け、事業を廃止する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、愛媛県の自主検査補助金が廃止されたことを受け、事業を廃止する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04013_01		
事業名(行目名称)		救急医療体制整備費	細事業名	救急医療体制運営事業委託			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	114,886人		
	手段(どうやって)	外科の休日在宅当番医制の運営を新居浜市医師会に委託し、休日における一次救急医療の体制を確保するとともに、救急医療の適正受診について市民に周知・啓発を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市における休日一次救急医療体制の維持確保を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		4,153	4,208	4,208	4,208	○委託料 4,208千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	4,153	4,208	4,208	4,208		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
外科当番医診療人数		目標値	800	800	400	800	800
		実績	732	878	377	756	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
休日における一次救急医療を提供し、市民の安全・安心な生活に繋げると共に、救急医療の適正受診の周知・啓発に努める。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
在宅当番医制により、日曜、祝日の外科の診療を行っている。今後も実施していく。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
顕在化している出務医師不足等の問題はありますが、在宅外科当番医制運営事業を継続して実施し、休日における一次救急医療体制を確保する必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	04013_02		
事業名(行目名称)		救急医療体制整備費		細事業名	休日夜間急患センター管理事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉		施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保		担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民			数値	114,886人		
	手段(どうやって)	新居浜市医師会と協議しながら、休日夜間急患センター施設の維持管理及び運営の調整を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市における一次救急医療体制の確保を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース ○需用費 265千円 ○役務費 4千円 ○委託料 183千円 ○使用料及び賃借料 1,290千円		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,491	1,742	1,742	1,522			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,491	1,742	1,742	1,522			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
施設整備			目標値	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
休日夜間急患センターが老朽化しているに伴い、適正な維持管理が必要となる。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
一次救急である休日夜間急患センターを維持し、適正に管理することで、市民の安心安全を確保する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
市民の安心安全のため、一次救急である休日夜間急患センターを適正に管理し、救急診療業務を継続する必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04013_04			
事業名(行目名称)		救急医療体制整備費	細事業名	休日夜間急患センター運営補助				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	114,886人			
	手段(どうやって)	新居浜市医師会が運営する休日夜間急患センターの運営費用を補助し、休日夜間の一次救急体制を確保するとともに、救急医療の適正受診について市民に周知・啓発を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市における休日夜間救急医療体制の維持確保を目指す。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		120,646	40,000	112,000	76,891	○負担金補助及び交付金 40,000千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	120,646	40,000	112,000	76,891			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
休日夜間急患センター診療日			目標値	365	365	183	366	365
			実績	365	365	183	366	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
休日・夜間における一次救急を提供し、市民の安心安全な生活に繋げると共に、救急医療の適正受診の周知・啓発に努める。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
救急医療体制整備のため、今後も運営費用に係る赤字分を補助する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
市民の安心安全な生活を確保する必要があることから、休日夜間急患センター事業を継続して実施していく。しかし、出務医師の不足及び高齢化、赤字補填額の増大などの問題があることから、今後事業規模・内容について見直しを検討していく必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04070_01		
事業名(行目名称)		大島診療所管理費	細事業名	大島診療所維持管理事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	大島地区住民		数値	155人		
	手段(どうやって)	大島地区住民の健康管理のため、新居浜市医師会が開設する大島診療所を適正に管理する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	大島地区住民の健康管理のため、診療所の維持管理を適正に行い、大島地区における診療体制を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		649	702	702	376	○需用費 185千円 ○役務費 44千円 ○委託料 473千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		649	702	702	376		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
施設数			目標値	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
大島地区の地域医療の拠点であり、診療業務を円滑に実施するため適正管理を行う必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
離島における市民の健康管理のために必要不可欠な医療施設であるため、引き続き、維持管理が必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
大島地区住民の健康管理のため、開設している大島診療所において、診療業務が円滑に実施できるように診療所の維持管理を適正に行う必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04070_02		
事業名(行目名称)		大島診療所管理費	細事業名	大島診療所運営補助			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	大島地区住民		数値	155人		
	手段(どうやって)	新居浜市医師会が運営する大島診療所の運営費用を補助し、大島地区における診療体制を確保する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	大島地区住民の地域医療の確保と健康を守る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 7,350千円	
経費		6,109	7,350	7,350	6,081		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	6,109	7,350	7,350	6,081		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
診療日		目標値	50	51	25	50	50
		実績	51	52	25	44	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
島民の減少及び高齢化により診療所は赤字ではあるが、健康管理に重要な医療施設であるため維持は必要である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
島民の健康管理のため、新居浜市医師会が開設する大島診療所は不可欠である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		B:事業の進め方の改善検討				
地域医療の拠点を維持するため、地域住民の減少等による診療所の赤字分を補助金として補填することにより、新居浜市医師会による大島診療所の運営を維持する必要がある。福祉医療MaaSを導入することにより、事業の一部を見直すことが出来ないか新居浜市医師会と検討していく必要がある。また、年度途中から外科の担当医が不在になったため、代替医師の確保に務める。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04173_01		
事業名(行目名称)		別子山診療所管理費	細事業名	別子山診療所維持管理事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区住民		数値	113人		
	手段(どうやって)	別子山地区住民の健康管理のため、新居浜市医師会が開設する別子山診療所を適正に管理する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子山地区の住民の健康管理に努め、地域医療・保健サービスの拠点とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		33	36	36	33	○役務費 36千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	33	36	36	33		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
施設数		目標値	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
別子山地区の地域医療の拠点であり、診療業務を円滑に実施するため適正管理を行う必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
別子山地区における市民の健康管理のために必要不可欠な医療施設であるため、引き続き、維持管理が必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
別子山地区の地域医療の拠点であり、診療業務を円滑に実施するため適正管理を行う必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04173_02			
事業名(行目名称)		別子山診療所管理費	細事業名	別子山診療所運営補助				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区住民		数値	113人			
	手段(どうやって)	新居浜市医師会が運営する別子山診療所の運営費用を補助し、別子山地区における診療体制を確保する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子山地区の住民の健康管理に努め、地域医療・保健サービスの拠点とする。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		6,513	8,210	8,210	7,534	○負担金補助及び交付金 8,210千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	4,000	4,000	4,000	4,000			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	2,513	4,210	4,210	3,534			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
診療日			目標値	50	47	25	50	50
			実績	49	47	26	50	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
別子山地区の人口減少及び高齢化により診療所は赤字ではあるが、健康管理に重要な医療施設であるため維持は必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
別子山地区の健康管理のため、新居浜市医師会が開設する別子山診療所は不可欠である。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
地域医療の拠点を維持するため、地域住民の減少等による診療所の赤字分を補助金として補填することにより、新居浜市医師会による診療所の運営を維持する必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	04242_01	
事業名(行目名称)		新居浜市医師確保奨学金貸付事業費		細事業名	新居浜市医師確保奨学金貸付事業		
総合計画	まちづくり	健康・福祉		施策	健康づくりと医療体制の充実		
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保		担当課	健康政策課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	奨学金貸付申込者			数値	1人/年	
	手段(どうやって)	市内の医療機関で働く意志のある医学部生に入学又は修学に要する資金を貸し付け、一定の期間、市内の医療機関で勤務することにより奨学金の返還を免除する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市内の医療機関で勤務する若い医師を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○貸付金 14,900千円	
経費		7,200	14,900	14,900	14,682		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	7,200	14,900	14,900	14,682		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
新規貸付人数			目標値	1	1	1	1
			実績	2	0	2	2
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
応募定員1名に対し、1年生1名、6年生の1名の応募があった。予算の範囲内であり、2名の貸付を決定した。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
医師の高齢化及び医師不足の解消のため、毎年1名の奨学生を確保するための予算を維持する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
2名の申請があり、新規の貸付けを2件行い、貸与累計人数は6人となった。将来的な医師確保のため、今後も計画的に事業を進める。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04255_01		
事業名(行目名称)		新居浜市歯科衛生士確保奨学金貸付事業費	細事業名	新居浜市歯科衛生士確保奨学金貸付事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	修学資金貸付申込者		数値	5人/年		
	手段(どうやって)	市内の歯科衛生士の養成施設に在学する方に、修学資金を貸し付け、一定の期間、市内の歯科医院で勤務することにより、資金の返還を免除する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市内の歯科医院で勤務する歯科衛生士と地域医療の充実、高校卒業後の新たな選択肢として若年層の転出抑制、定住促進を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○貸付金 2,160千円	
経費		960	2,160	2,160	1,680		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	960	2,160	2,160	1,680		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
貸付人数			目標値	5	5	5	5
			実績	3	1	3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
募集人員5名に対し応募のあった3名に新たに貸付を行った。来年度の貸付者募集について、早期に申し込みができるよう見直しを行った。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
市内の歯科衛生士不足の解消と地域医療の充実を図るため、毎年5名の新規修学生の確保のための予算を維持する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
募集要項の見直しを行い、募集及び貸付け決定の時期を早めたことで3名の応募があり、3件の新規の貸付を決定した。歯科衛生士不足の解消のため、今後も継続して事業を実施する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04257_01		
事業名(行目名称)		地域医療対策強化事業費	細事業名	地域医療対策強化事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	地域医療中核医療機関		数値	4		
	手段(どうやって)	新居浜市と医師会及び地域医療の中核を担う4病院(新居浜県立病院、住友別子病院、十全総合病院、愛媛労災病院)の協働により新居浜市に愛媛大学医学部の寄附講座を開設する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	将来にわたって市民が安心して医療を受けることができる地域医療提供体制の確保と医療従事者の育成の場の提供を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○寄附金 24,000千円	
経費		25,000	24,000	24,000	24,000		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	15,000	14,000	14,000	14,000		
	一般財源	10,000	10,000	10,000	10,000		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
寄附講座設置数			目標値	1	1	1	2
			実績	1	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
十全総合病院を拠点とする「難病・高齢医療学講座」は2年目となる。新たに愛媛労災病院を拠点とする「(仮称)先進消化器内視鏡開発学講座」の設置が愛媛大学教授会で承認され、令和6年4月開設予定である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
継続して設置する「難病・高齢医療学講座」及び新設する「(仮称)先進消化器内視鏡開発学講座」のための予算を要望する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和4年4月に十全総合病院をサテライトとする「難病・高齢医療学講座」が開設され、市民にとってより専門性の高い治療を受けることができている。愛媛労災病院をサテライトとする「先進消化器内視鏡開発学講座」の開設に向け準備を進め、令和6年4月に開設することとなった。今後も住友別子病院、県立新浜病院での寄附講座開設に向けて協議を行い、地域医療体制の確保を図る。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04268_01			
事業名(行目名称)		産科医等確保支援事業費	細事業名	産科医等確保支援事業補助金				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内分娩取扱医療機関		数値	2医院			
	手段(どうやって)	産科・産婦人科医師及び助産師に対して分娩1件あたり10,000円を上限とし、県費(国費の間接補助)1/3補助、市1/3を補助する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	産科医療機関、産科医が減少している現状を鑑み、医療従事者の確保を図るため、産科医療機関、産科医に対して財政的支援をす行い、身近な地域で安心して出産できる環境を整備する。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		3,092	3,667	3,667	2,944	○負担金補助及び交付金 3,667千円		
財源	県・国支出金	1,546	1,833	1,833	1,472			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,546	1,834	1,834	1,472			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
産科医の分娩取扱補助件数			目標値	750	750	275	550	550
			実績	631	464	216	442	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>出生数が減少していく中で、県内全体で産科医及び助産師を支える体制を構築するために分娩手当を県とともに補助し、継続的に産科医等の維持確保を図る必要がある。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>分娩取扱件数に顕著な減少はないため、現状維持とする。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
<p>対象分娩数は、こにしクリニックと新谷ウィメンズクリニックの2院で442件であった。出産数の減少や医師不足の中、産科の医療体制を維持するために必要な事業であるが、出産数は減少しているため、予算規模は縮小する。</p>								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04269_01		
事業名(行目名称)		救急医療施設広域運営事業費	細事業名	救急医療施設広域運営事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	114,886人		
	手段(どうやって)	病院群(新居浜市4病院、西条市6病院)が共同連帯して輪番制により、休日及び夜間において、初期救急医療施設から転送された入院治療等を必要とする重症救急患者の医療を実施している。新居浜市は、事業を実施する市内の医療機関に対し、運営費の一部を負担する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜・西条保健医療圏における第二次救急医療体制の確保を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 10,731千円	
経費		10,781	10,731	10,731	10,731		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	10,781	10,731	10,731	10,731		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
補助対象救急病院数		目標値		3	3	3	3
		実績		3	3	3	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新居浜・西条保健医療圏における第二次救急医療体制の確保を図ることが出来ている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
第二次救急医療体制の確保を図るため、今後も継続していく必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
第二次救急医療体制の確保を図るため、今後も継続していく必要がある。							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)			数値			
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				